

## 第 26 号を刊行するにあたって

学 園 長 井 上 隆 弘

鯉淵学園農業栄養専門学校は、全国各地から入学する学生を対象として、農業を担う実践者と指導者、健康的な食生活を推進する指導者、実践力のある地域リーダー、国際協力推進者などを育成する教育機関であり、同時に、農業および食生活に関する新しい技術や手法を実用化するための調査・研究を行う試験研究機関としての責務を負っている。特に、後者は、鯉淵学園農業栄養専門学校（農民教育協会）が「教育、科学の振興、社会福祉への貢献等の公益性の高い事業を行う特定公益増進法人」として認可を受け、通常の法人と異なる様々な特典を継続していくための必要条件となっている。

この鯉淵学園教育研究報告は、学園関係者の調査・研究成果と関連する解説・総説・随想記事を公表するとともに、学園教育研究事業の正確な記録を残し、学園活動を広報することを目的に、年1回刊行し、広く関係機関、大学・試験研究機関および学生保護者などに配布している。特に、調査・研究成果に関する論文については、審査を経た未発表論文を原則としており、変革期にある我が国の農業・食生活の改善・発展の大きく貢献することを目指している。

鯉淵学園では、限られた調査研究資源を効率的・効果的に活用するため、平成13年に概ね全教職員が参画できる2つの総合研究プロジェクト「環境保全・循環型農業実証研究」及び「若者新規就農促進教育研究」を発足した。これらの研究成果については、別途「総合研究成果報告書」に報告されるが、学術的に完成した成果のいくつかについては本書に「教育事業ノート」として所収した。

また、本誌には、学園教職員独自の研究課題から生まれたオリジナルな研究成果を所収することになっている。本号においては、食品科学分野、国際開発分野および湖沼環境科学分野の成果を掲載した。

本誌が学園関係者だけでなく、外に開かれた学園からの情報発信の中核として、その役割を十分に果たせるようますます内容の充実に努めるつもりである。関係各位のご指導、ご助言がいただければ有り難い。